

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	国語・基礎国語 I		単位数	2単位		履修学年	1年	
目標	常用漢字の筆記能力を向上させるとともに、四字熟語、故事成語等の意味理解を深めさせ、そのことを通じ、文章読解および文章表現のスキルを高める。目的や場に応じて、表現を工夫し、読んだり書いたりできる力をつける。							
使用教材	使用教科書 特別国語（本校独自の教材）及び各種プリント等							
評価の観点	(関心・意欲・態度)	(話す・聞く能力)	(書く能力)	(読む能力)	(知識・理解)			
	観点・積極的に学習活動に参加できること。 評価・授業の発問や提出物も評価の対象となる。	観点・論理的思考、心情を理解できる。 評価・単元ごとの小テストで確認する。	観点・作文、短歌、俳句等に取り組むことが出来る。 評価・作品の提出とともに総合的に評価する。	様々な時代の文体を、的確に読み取る。 評価・単元ごとに、要約問題を小テストする。	観点・語彙の知識および修辞の理解を出来る。 語彙力育成する教材を使用し小テストを行う。			
評価方法	定期考査および、各単元ごとの小テストを実施する。また、提出物は原則として得点化し、評価する。							
学期	学習内容				学習のねらい			
1	<p>辞書の使用方法和教育漢字の習得およびことわざ、四字熟語の理解。</p> <p>日本国憲法前文・文学作品を読み、そこに使用されている漢字と語句の意味について学ぶ。</p> <p>韻文の創作</p>				<ul style="list-style-type: none"> 本校独自のテキスト「特別国語」①を使用し、授業を進める。 <ol style="list-style-type: none"> 国語辞典・漢和辞典の使用方法を学ぶ。 教育漢字（1006字）の習得。（小テストを実施） ことわざの意味理解。四字熟語の習得。 日本国憲法前文の意味理解に努める。 音読を繰り返し、法令文の形式に慣れさせる。また、辞書を使用し内容の意味理解に努めさせる。 文学作品（古典を含む）の冒頭部分を暗記し、名文に親しむ。 冒頭部分の書写をおこない、最終的には暗記させる。（小テストを実施） 辞書を使用し、語句の意味理解に努めさせる。 佐佐木信綱顕彰会に応募する短歌の創作をする。 <ol style="list-style-type: none"> 佐佐木信綱の略歴と作品に触れる。 短歌創作の手法について学ぶ。（作品に対する評価をおこなう） 			
2	<p>辞書の使用方法和教育漢字の習得およびことわざ、四字熟語の理解。</p> <p>学習プリントによる表現の初歩 I</p> <p>韻文の創作</p>				<ul style="list-style-type: none"> 本校独自のテキスト「特別国語」②を使用し、授業を進める。 <ol style="list-style-type: none"> 漢字の成り立ちについて学ぶ。 常用漢字の学習。（小テストを実施） 故事成語、四字熟語の意味理解。 音読および書写 <ul style="list-style-type: none"> さまざまな種類の文章を音読するとともに、書写をおこなう。 原稿用紙の使用方法について学ぶ。 三重の一句に応募する俳句の創作 <ol style="list-style-type: none"> 俳諧の歴史と松尾芭蕉の作品に触れる。 俳句創作の手法について学ぶ。（作品に対する評価をおこなう） 			
3	<p>学習プリントによる表現の初歩 II</p> <p>自らを語る</p>				<ul style="list-style-type: none"> 修辞法について学習する。（比喻法・倒置法等） 文学作品に表された修辞法を取り出し、どのような形態で使用されどのような効果を生んでいるかを考える。 実際に各修辞法を使用し、短文を作る。 原稿用紙1枚（400字）程度で自己紹介文を作成する。（評価の対象とする） 作成後、各自がクラスで発表する。（評価の対象とする） 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 各学期、定期考査以外に小テストを実施し、単元ごとの理解度をはかりながら授業を進めていく。 小テストの到達度が不十分と判断される生徒に関しては、補習をおこなう。 							